

認知症サポーター 養成講座

福祉科2年生と生活文化科3年生の生徒が、「咲明日ステーション交流会」に向けて、認知症サポーター養成講座を受講しました。



中津川市社会福祉協議会の方を招き、認知症についての基礎知識を学習しました。また、地域のグループホーム職員の方から、声掛けの仕方や関わる時に気を付けることなどを教えていただきました。

○生徒の感想

- 何気ない行動や言葉で認知症の方を不安にさせたり、嫌な気持ちにさせてしまったりすることが分かりました。あまり気を使いすぎてお世話をし過ぎて、逆に不安や恐怖を感じてしまうことが分かったので、気を付けて接したいです。
- 咲明日ステーション交流会では、後ろから声をかけないこと、認知症の方が不安にならないような行動をすることが大切だと思いました。
- 認知症の方に対する正しい接し方をして、その方の自尊心を傷つけないような介護福祉士になろうと思える2時間でした。私も一人の認知症サポーターとして、正しい知識をもち、差別をしない、偏見をもたない人になります。



○認知症サポーターとは・・・??



認知症やその家族の「応援者」

なにか特別なことをするわけではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ること、これが認知症支援のスタートです。

オレンジリングは
認知症サポーターの証！！

